1920
1930
1940
1950
1960
1970
1980
1990
2000
2010
2020

プラネタリウムの未来

最新データに基づく多くの恒星、高精細な宇宙映像、
それらを映すためのより大きなドーム、
LED ドームのような新しい技術の導入など、
本物に近い星空を再現するため、プラネタリウムは発展を続けています。

近年では、移動可能なモバイルプラネタリウムや
自宅で気軽に楽しめる家庭用プラネタリウムの数も増えてきました。
プラネタリウムの機能や活躍の場は、ますます広がっているのです。

大型プラネタリウムドーム
協力：名古屋市科学館

海辺の洞窟でのプラネタリウムイベント
協力：大平技研

モバイルプラネタリウム
協力：岩上洋子

LED ドームでの映写
協力：コニカミノルタプラネタリウム

ともに星空を眺め、コミュニケーションを図るプラネタリウムは、
今後さらに魅力を増していくことでしょう。
誕生から 100 周年を迎えたプラネタリウムの未来は
いったいどのようなものになるでしょうか。